



手刈りは大変！ 大桑小学校が稻刈り体験

9月6日、大桑地区の田んぼで大桑小学校児童の稻刈り体験が行われました。

この体験は、総合的な学習の時間の一環として、農事組合法人おおがの協力のもと毎年行われており、今年は3、4年生23人が参加しました。はじめに組合員から刈り方などの説明を受けた後、手刈りと機械刈りを体験。児童は、「機械と比べて手刈りは難しくて時間がかかり、昔の人は大変だと思った」と感想を話しました。



森林づくりを担う人材を育成 岐阜農林高校が林業就業体験実習



9月11日、みやまの森で岐阜農林高校1年生38人が林業就業体験実習を行いました。この実習は、岐阜農林事務所が主催し、将来の森林づくりを担う若い人材を確保することを目的に、毎年実施しています。

実習では、岐阜中央森林組合の職員による下刈り鎌を使った下刈り作業の仕方について話を聞いた後、鎌を使って作業を行いました。作業終了後には砥石を使って鎌を研ぐ作業も行いました。

実習に参加した生徒は、慣れない作業に苦戦していましたが真剣な表情で取り組んでいました。

老若男女で楽しむ 花咲きホールで、野々田万照・おかゆライブ

9月16日、花咲きホールで、サックス奏者の野々田万照さんと「平成のよんなギター流し」おかゆさんによる「野々田万照・おかゆ 老・若・男・女ライブ」を行いました。

会場には、石川県や奈良県など遠方から来た人もおり、約300席がいっぱいになりました。

ライブでは、おかゆさんは流しを再現するなど26曲を熱唱。

おかげさんの曲「82回目の春」の主人公である野々田万照さんのお義父さんが登場するなど、さまざま世代が楽しめる公演でした。

また、前日の9月15日には大桑の特別養護老人ホーム椿野苑で、野々田万照さんとおかげさんがミニライブを行いました。

これは花咲きホールが、身近な環境の中で芸術文化に触れ、こころの潤いとなるよう企画しているアウトドア事業の一環で実施したもので

ミニライブでは、入所者の皆さんが懐かしい昭和歌謡と一緒に口ずさむなど、楽しいひとときを過ごしていました。



秋の夜長を楽しもう 月見茶会と ヴァイオリンコンサート



9月22日、古田紹欽記念館で月見茶会を行いました。茶会は天候の都合で室内での開催となりましたが、記念館の庭園には竹灯籠や和傘などが飾られ、和風の雰囲気を楽しみながらの茶会となりました。

また、隣接する花咲きホールではヴァイオリン奏者の濱島秀行さんとインストユニットQ.R.Sによるコンサートも行われ、参加者は五感で秋を楽しみました。

筆、墨を駆使して挑戦 伊自良北小水墨画教室



9月28日、伊自良北小学校で、美

術史家高橋範子さんを講師に迎え、古田紹欽記念館特別事業の水墨画教室を行いました。

この事業は、ふるさと伊自良と水墨画の関わりを地元の子どもたちに知つてほしいと3年前から行っています。今年も貴重な水墨画作品の鑑賞をしたのち、5、6年生10人が作品制作に取り組みました。特徴ある人物画を手本に、それぞれ墨をすり、筆を走らせて絵を描き上げました。

児童は「昨年も水墨画を描いたが、今年は墨の濃淡や筆の使い方を工夫してできた」と、作品のできばえに満足していました。

田中花子さん 100歳を迎える



夏の思い出 夏休み作品展表彰式



9月7日から9日、伊自良中公民館で夏休み作品展を開催しました。科学作品、社会科作品、図工・美術作品、技術科作品、家庭科作品、読書感想文の6部門に、市内全小中学校で校内審査を通過した386作品が出品されました。作品展開催中、市内外から950人ほどの参観者がありました。また、12日には、市役所で表彰式も開催され、市長賞に選ばれた15人には、市長から直接賞状が授与されました。

2018福井しあわせ元気国体 選手、監督4人が出場



第73回国民体育大会に出場する選手、監督4人のうち2人が、9月11日、市長を表敬訪問しました。訪問したのはアーチェリーのコーチとして出場する鷲見益男さん（聖マリア女学院高校教員）、バレーボールの中里陽太さん（県立岐阜商業高校②）です。また、当日は欠席しましたが、ハンドボールの監督として各務宗孝さん（市立岐阜商業高校教員）、クレー射撃の山口浩二さん（山口建築）が出場します。市長は「人生を振り返った時、誇りが持てるような経験をしてきてほしい」と激励しました。

10月3日、葛原の田中花子さんが、100歳の誕生日を迎えられました。田中さんは結婚後、子どもや孫の育児や世話をするかたわら、趣味でもある畑仕事に精を出されました。これが長生きの秘訣ではと、ご本人は話されていました。今までに大きな病気もしたことがなく、今でも自分のことは、自分ですることです。現在は息子夫婦と3人で暮らしています。